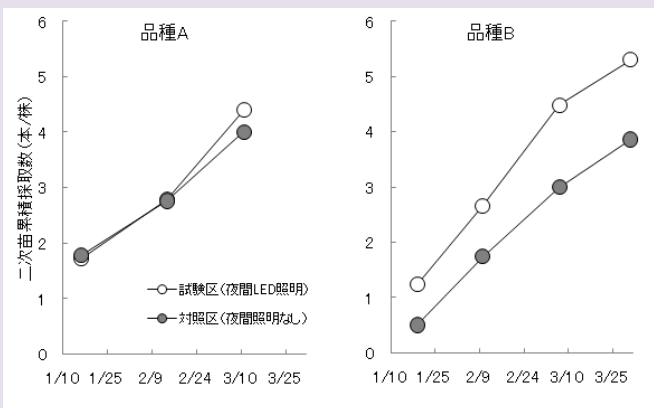


【全体概要】

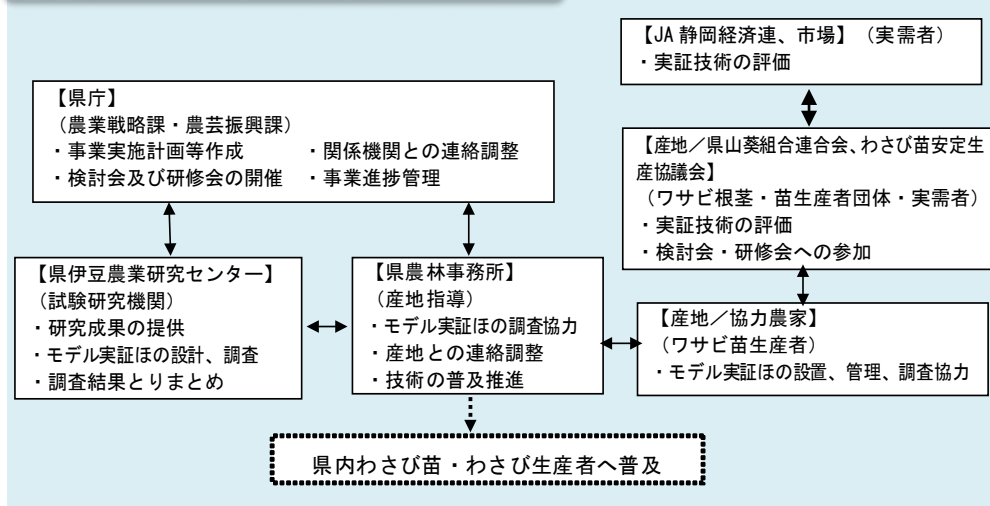
本県のワサビ産地における「苗の供給量不足」の解消を図るため、静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センターわさび生産技術科で開発した「夜間LED照明による二次苗増殖技術」の普及を目指し、ワサビ苗生産体制の構築に取り組んでいる。

新品種・新技術等の概要

- LEDを用いた夜間照明の効果として、一部の品種では、慣行区よりも親株1株あたりの二次苗採取本数が増加した。
- 夜間LED照明の効果が強く出た品種では、親株1株あたりの二次苗採取本数が慣行区と比較して、1.3倍~1.4倍になった。



実施体制図



主な取組内容

- ワサビの夜間LED照明の施用方法やその効果について、県内2地域で現地調査を実施した。
- 調査結果について、生産者や関係者による検討会を開催し、施用方法等について検討した。また、研修会を開催し、夜間LED照明施用条件や二次苗生産技術に関する情報共有を図った。
- ワサビ根茎生産者、市場等の実需者を含めた検討会を開催し、夜間LED照明の効果について情報共有した。また、検討会や研修会の継続実施を提案し、新技術導入に関する意識醸成を図った。

課題と今後の対応

- 県内2地域において、ワサビ現地調査を継続する。
- 現地調査の結果をもとに、夜間LED照明の施用方法・効果を整理することで、技術導入に向けたマニュアルを作成する。
- 市場担当者等の実需者を交えて、新技術の評価及び品種等に関する市場性調査を行い、新技術の普及に向けた情報収集を行う。
- 新技術に関する検討会、研修会を実施し、産地へ情報発信を行うとともに、技術導入に関する意識醸成を図る。